

# 未来館 NEWS

「女と男の未来館」広報誌

2001  
1月

創刊号



“自分らしさ”を生かした未来へ

## 創刊記念特別対談「女と男の21世紀」

ジャーナリスト 筑紫 哲也さん  
「女と男の未来館」館長 下村 満子

福島県男女共生センター「女と男の未来館」オープン  
事業・施設のご紹介



# 私たちが目指すのは、 女性にとっても 男性にとっても 等しく「幸福な未来」です。

21世紀がスタートした2001年1月、二本松市に福島県男女共生センター(愛称「女と男の未来館」)が誕生しました。女性も男性も自分らしい生き方の選択ができる社会～男女共同参画社会～の形成を目指した活動の拠点として、性別を問わず御活用いただける施設です。

「未来館NEWS」は、「女と男の未来館」から、女性にとっても男性にとっても等しく幸福な未来に向けて、男女がよりよいパートナーシップを築いていくためのさまざまな情報やメッセージをお届けします。

## もくじ

創刊記念特別対談「女と男の21世紀」……………	1
ジャーナリスト 筑紫 哲也さん	
「女と男の未来館」館長 下村 満子	
「女と男の未来館」へのメッセージ……………	7
ジャーナリスト(助横浜市女性協会理事長) 有馬真喜子さん	
大阪大学大学院人間科学研究科教授 伊藤 公雄さん	
北九州市立女性センター「ムーブ」所長 三隅 佳子さん	
エッセイスト 村瀬 春樹さん	
DATA&VOICE	
「男女共同参画」について聞いてみました……………	8
福島県男女共生センター	
「女と男の未来館」オープン	
男女共生センターの基本理念……………	10
事業紹介……………	11
施設紹介……………	12
男女共生センター図書室……………	13

# 21世紀 女と男の

アメリカで起こったウーマンズ・リブから約30年。20世紀後半、女と男の「生き方」や「関係性」は大きな変化を遂げてきました。いよいよ新世紀、これからの「女と男」が幸せになるにはどうすればよいのか?!? 「女と男の未来館」館長の下村満子が、友人でもある国際派ジャーナリストの筑紫哲也さんをお迎えし、よりよい「未来像」を模索しながら、「女と男の未来館」の有効な活用方法について考えます。



筑紫 哲也さん

早稲田大学政治経済学部卒。

59年朝日新聞社入社後、68～70年米軍統治下の沖縄特派員として返還交渉を取材、71～74年にはワシントン特派員としてニクソン訪中、ウォーターゲート事件等を取材。74年「朝日ジャーナル」副編集長に就任。84年には同誌の編集長に就任し、「新人類の旗手たち」「元気印の女たち」等の企画を成功させ「新人類」「元気印」などの流行語を生む。89年7月に朝日新聞社を退社、同年10月からTBSテレビ「筑紫哲也NEWS23」のメインキャスターを務める。以後現在まで、鋭い視点で世相を斬る国際派テレビジャーナリストとして活躍中。



下村 満子館長

慶応大学経済学部卒、  
ニューヨーク大学大学院修士課程修了。

65年朝日新聞社入社後、80～82年ニューヨーク特派員。82年には国際報道に貢献した記者に与えられる「ボーン・上田国際記者賞」を受賞。その後、ハーバード大学ニーマン特別研究員を経て、90年「朝日ジャーナル」編集長に就任。94年朝日新聞社退社後、フリーのジャーナリストに。さらに、健康事業総合財団理事長のほか経済審議会委員、女性のためのアジア平和国民基金理事、実力・行動力のある女性が政治の場へ進出する支援をする「WIN WIN」副代表等多数の役職を務める。福島県男女共生センター「女と男の未来館」館長には2000年4月に就任。

ジャーナリスト  
筑紫 哲也さん × 下村 満子  
「女と男の未来館」館長

女性と男性の元気の差はどこから？

下村 まず、21世紀を迎えて、今の日本の女性と男性の生き方を見てどんなふうに感じていらっしゃるか、どういふ問題点があるかというような話から始めたいと思います。

筑紫 すく思いつくことは、20世紀のことです。ウーマンズ・リブと呼ばれるものが1970年を起点として起こりましたね。僕はそのころちょうどアメリカに住んでいたんですが、ニクソン大統領がインタバビューされたときに、「大統領、『ミス』っていう言い方をどう思いますか」という質問があった。そしたらニクソンは「私は古いタイプの人間で、どうもそれにはなじめない」と言っていたの。ところが2年後には、彼は記者会見でヘレン・トーマス記者(ホワイトハウス記者クラブでボスの存在だった女性記者)に「ミス・トーマス」と言っていましたね、「今は『ミス』と云うたんですよ」と念を押したの。これ、ものすごい変化だなと思った。でね、アメリカでウーマンズ・リブが生まれるっていうのは、実は、アメリカでは女性が権利要求する必然性っていうのがものすごくあったんです。早い話が小切手ね。アメリカのかなり州で、小切手は奥さんだけでは通用しなかったんですよ。ミスターアンドミセスでなければダメ。あるいは夫の小切手でなければいけない。そういうことが当たり前前の社会だったわけね。で、ある種の必然性があった



たんですよ。20世紀にはいろんな運動が起きたけど、コンスタントに続いた運動というのは女性運動ですよ。

下村 なるほどね。そうかもしれないね。

筑紫 日本の男と女の話で言えば、一番シンボリックだったのはシドニー・オリンピックですよ。女性がものすごく活躍をして、男性は率直に言っています。いまいちで終わった。端的な例はマラソンの高橋選手ですね。日本の、特に男性のアスリートたちが国際的な場面に出ていくと、終わってからは必ず、雰囲気にもまれて思う存分力を出せなかったという話をする。一方高橋選手は、「楽しかった」と言っていました。40何キロ走ってね、人間が楽しいって話をマラソンでしたのは初めて。

下村 初めてでしょう。以前は、自分で自分をほめてやりたいって涙ポロポロ出した方がいたりね。

筑紫 そうそう。で、僕は高橋さんにインタビューしたときに、普通は楽しい競技じゃないはずなのにって言ったの。そしたら彼女は、だっていつも練習してるときはだれも見てくれないけど、

大会ではみんなが応援してくれて、こんな楽しい舞台はない。と。つまり、大会の雰囲気は男の場合は得てしてネガティブに働くのに、それがプラスに働いて自分にアクセルをかけるっていうところに男が振るわず女性がんばったことのがキの一ツがあるんじゃないかと思つてますがね。男は非常に世間に縛られているんですよ。世間体縛られていて人間がなぜあがるかっていうと、恥をかきたくないから。で、日本の社会は男は元気がなくて女は元気だとしてよく言つてしまう。その差は、世間体という他律的なものに縛られてるかどうかの差じゃないかと思うんですね。国際競技でもたくさん人がいたほうが楽しいっていう心境になかなか男はなれないようになってるんですよ。

下村 それは世間体だけの問題じゃなくて、組織の規律とか秩序をはみ出さないとか、そういう自己規制的なところが男性には不可欠とされているけど、女性はまだコントロールされていなくて自由なことなんじゃないかな。もっと自由なのかしら。

筑紫 それは実は全面的に謳歌できない自由であって、なぜ女性がより自由かって言えばまだその序列に組み入れられてないから。

下村 そう、まさにそうですね。というか、若いときどんなにがんばっても将来その序列に入る可能性も少ない。

筑紫 組み入れられてないことの自由というのがあるって、そうすると今みたいに差別とかがあっても、それであんなら自由なんだからいいじゃないかっていう議論になっちゃうと、まちがいでっていいこと。だからそこはすごく難しいんですけどね。

女性の男性化は幸せなのか

下村 難しい。だけど、今の女性たちがこのまま成長していくと、もしかしたら案外、組織のけっこう偉いところに行っても、取り込まれない可能性も出てくる。

筑紫 出てくると思いますよ。それは二通りでね、一方で、アメリカの場合、女性の男性化というのが起きまして。我々だって銃持って戦つたよ。

組織とか社会の成り立ちを女性化しちゃうっていうか、

もうちょっとリラックスして、

子どもを産みながら仕事もできるって、ほづへもっていくことかなと

私は思ってますね。

( ) 下村



そつなっていくと、ある意味でイコール・ライツ(男女同権)ってというのは、女性が男性化することだということのような部分も出てくる。それはわからんではないけれども、女性が男性になっちゃって何がいいのって感じがする。日本でも似たようなことがありましてね、あるデパートの女性職員が集まっている会合に呼ばれたとき、僕のような管理職を逃げ回ってきた身から言うとか、何も男性並みになることが幸せではないと思うという話をしたんですが、彼女たちはその考え方についてはノーですよ。だって、目の前でね、能力のない男どもがですね、男であるがゆえに階段を上がっていく。私たちがって能力はあるんだから管理職になりたいというのはあるんですよ。

下村 しかも、管理職って権力だけじゃなくて、給与だとか待遇に全部結びついてきますからね。

筑紫 気持ちにはわかるのね、腹立つよ、やっぱり。仕事では自分のほうが上なのに、なんでこういう目にあうんだと。女性だつてことにすぎないじゃないかと。

いかと。で、そういう段階はあったと思うんですよ。だけど、一方で、今から女性が男と同じことをフォロワーしてやってもしょうがないじゃないか、という考えもある。両方だと思っただけでね。僕は、今働いている人たち、別に悪い意味じゃなくて、けっこうオジジギヤルのな人って多いと思いますよ。

下村 多い、多い。あるいは、発想が男性以上に男性化したりね。だけれど、私なんかは、やはりそつないうオジジギヤルの生き方をすると、結婚も難しくなるし、仮にしても子どもは産まないとかになるんじゃないかと思う。少子化傾向なんていうのも、そつないうことの一つの現れであつて、けつして自然とは思われないのね。今は、男のために作られてる組織体の中に女性が入っていくわけなんで、非常に肩を張り目をつり上げないと戦いではとても勝てない。「あいつは女じゃない」とか悪口言われながら非常に有能な女性のみが相当のときには行けるという時代にはなつたけど、平均的な女性も、男性と同じように課長にもなるという社会にならないとおかしい。そのためには、もっと女性がいっぱい外に出ていくこと

とによって、逆に組織とか社会の成り立ちを女性化しちゃつていうか、もうちょっとリラックスして、子どもを産みながら仕事もできるっていうほうへもつていくことかなと私は思っただけです。さっきの高橋選手じゃないけど、楽しみながら。もちろんこれ理想論で、そつ簡単にいいかと思っただけね。

### 男性の優位性が消えていく

筑紫 ただね、僕は非常に長い目で見ると、男と女の関係にすこいパラドックスが起きてると思うのは、男が女性に対して優位性を保っていた理由は、体力と暴力なんですよ。

下村 なるほど。それはそつだ。

筑紫 つまり、原始的な時代にはね、物を重く担げるやつが労働力であつて、それは男のほうが優れてた。戦つたときにやっぱり暴力では男性が女性よりも、と。ところが、男主導で目指した文明というのは何なのかつていえば、なるだけ物を担がないですむこと、なるだけ暴力を避けることだね。つまり、未開から文明への発達というのは、なるだけ人間が楽をする方向にどんどん追求してきたわけです。で、その結果で

きあがつた社会は、成熟した社会、我々の社会はまさにそつですけれどね、女性に非常に有利な社会を男たちは作つちやつた。同じマンションを建てても、インターネットが優れているほうが売れる。感性が優れているほうが売れるわけ、そついう感性は、実は長い間女性の専売特許だった。特に流通の部分はそつなんですけれど、女性に向いてる社会を皮肉なことに男はあくせくして作つちやつた。そついつ中で、今まで男が持つた優位性というのはますます消えていくと思っただけ。貧乏だつて、だんだんイコールになつていかざるを得ないでしょう。

下村 能力の評価もね。結局、今の、感性だとかオリジナリティだとかのほうで評価が高くなつてきてね。

筑紫 そつそつ。だから、非常にある意味では男にとっては情けないという部分も含んでるんだけど、で、若い世代は、理屈じゃなくて本能的にそれはわかつてるんだと思う。だから、男がわりあい、優しいじゃないですか。相当に意識の中では変わつてきていると思っただけ。ただそつ簡単にいろいろなものが消えるわけではない。

下村 今おつしやつたような一つの流れの中から、最近確かに女性はずつレベルアップしてますよね。で、男性たちが今度はいまいち元気がない。そつすると、女性の側からみても、結婚したい頼りになる男性も少なくなつてくるしとか、そついう現象は、今おつしやつた流れの中で生じてきているのかしら。

男主導で目指した文明というのは何なのかつていえば、女性に向いてる社会を皮肉なことに男はあくせくして作つちやつた。(筑紫)



てみたい人がまだ多い。特に大企業の場合はね。

筑紫 だからなぜ女性が冒険ができるかっていう一つの大きなファクターは、失うものがないってこと。

下村 そうそう、失うものがない強さ。それはありますよ、これ以下にはならないっていうね。

筑紫 世間体っていうのを意識しながら自己規制していくっていう形では、人間として独立してないんですよ。だから冒険ができない。

下村 ほんと。だからそれは、やっぱりこわがってるわけですよ。新しいことをやることを。今の日本がそうでしょう。政治家も官僚も経済界も「変革」って言いながら、結局現状維持ですよ。

筑紫 だから、日本の今の遅々として進まない様子を、アメリカのマスコミなんか「飛ぶのが怖い」んだと言っている。エリカ・ジョングの「飛ぶのが怖い」という小説がありました。あれは女性の問題を取り上げた本ですよ。まさにそういう意味では逆転してるんですよ。

下村 これはやはり世界的な傾向というよりも日本固有の現象なんですかね。

筑紫 日本が先行してるだけだという考えもある。僕は、男はからいばりしすぎてた反動でペシヤンとなっていると思います。日本だって、パブルでいい気になって自信過剰になったおかげで、今度は不当に悲観主義になってなんか自信喪失してるでしょう。

どう、ネットワークするか。  
個を保ちながらネットワークするというのは  
今までよりは  
非常に難しいことですけどねども。  
(下村)

人間は個だけでは  
生きられない

下村 ただ、表向きは男が優しくなってるけど、最近、世界的に家庭内暴力がクローズアップされてきて、その男のフラストレーションが現れてるのかなと思ったりするんですけど。

筑紫 ちょっと怖いのは、男性化した女性の側にもフラストレーションがすごく強い。いろんな意味で、パンドラの箱の蓋を開けちゃったわけですよ。そうすると、女性の中でも呪文のように広がったのが自己実現というそっこのほつ。

下村 自己充足、自己実現っていうのは、へたするとエゴイズムと紙一重になっちゃうでしょ。何かこう勘違いして。女性の中にはそういう人たちが増えてるなとは思っています。

筑紫 つまり、本当にある意味で一人一人が個人にならざるを得ない状況ってのが出てきて、その一人一人がそれに耐える強さをもっているかっていう問題が出てきてね。だから、その個人になった同士がどういう関係を作っ

ていくのかというのがまだまだ今からの課題です。

下村 今からのですよ、そうなんですよ。個になったけど人間は個としてのみでは生きられませんから。最近の若い人たちがパブリックマインド(公共の精神)っていうのを無視して、自分だけ自由で、人殺したって何が悪いみたいになってきちゃってる。個性が大事っていうそのメッセージだけが変に強調されちゃって、まちがった方向に行きそつなことは怖いなと思って。

筑紫 そつななんです。結局ね、振り子っていうのは大きく揺れた後、戻るときも必ず極端になるんだけれども、私たちの社会は地縁・血縁っていうのが戦争終わるまでめちゃめちゃに人間を縛っていた。あれから逃れたかったんです。で、高度成長っていうのはこれをバランバランにしたわけですよ。そして、特に都市部はそうですけども、一人一人が砂のような存在になっってしまった。お互いに粘土のような結びつきがない。

下村 地域社会なんて全くなくなっちゃったわよね。

筑紫 で、今、教育であれ何であれ、

筑紫 そう思いますけどもね。これは本来あまりノーマルな話じゃないです。日本の男は、偉い人見ても、肩書きや組織をはずしたら何にもない人が多い。個々に裸にされてひんむかれてるわけですよ。今ね。そうすると、今までの中身がいかにないかということがわかってる。だから、女性の元気にたじろいでいるって面もあるけれど、本来持つべき内実がなかったってことが今日本の社会で暴露されてるからたじろいでるんで、男性の中に問題があったんだと思いますけどね。

下村 日本の男性は特に、社長さんにしてもその何々会社の社長という肩書きがすべてで、おみこしみたいに乗っかってる。実は、何にも美態がなくて、会社の詳細については何にも知らなく

いろんな問題を議論していくと、いかに地域社会っていうのがないと問題が前に進まないかっていうことがわかってきた。ただあの古めかしい地域社会には戻りたくない。しかし何か作らざるを得ない。結局そこで男女も、人間同士も、共生って言葉がキーワードでずっと出てくるわけですね。

下村 特に都会では、こわれてしまった地域社会をもう一度作りましようって言うてもそんなこと簡単にできない。うちのマンションの人たちだって、ほとんどつきあいませんからね。

筑紫 だからね、情報機器の発達やなんかを考えると、ある種の共通性を持った人が地域を飛び抜けてつながっていく可能性はある。

下村 ネットワークするということね。それは非常にありますね。

筑紫 それが広がっていくんじゃないかと思うんですけどね。逆に言うと、もし地域性というものをその中でも持っていたら、かつてはそれは遅れてい

ることだったけれども今度はうまく使えばプラスなんです。地域社会のこ

とを考えると、大都会では個人がそれを考える余地がないでしょ。たいていのことはそうなんだけれども、ある時後進性だと思われることが、次の社会ではプラスになる。で、先進性が過ぎたものに限界が出てくる。これの繰り返しなんです。物事は。

下村 だから、案外地方のほうがいいかもしれないね、地域性の使いこなし方さえまちがえなければ。やっぱり人間ってというのは、個から出発するけど、個だけでは絶対生きていけない動物よね。

筑紫 だから、組織に盲従する個というのは結構多いんですが、個がうまく立った上でそれがどうやってお互いにつながりあうか。

下村 どう、ネットワークするか。個を保ちながらネットワークするというのは今までよりは非常に難しいことですからね。

### 21世紀、女と男はどうなる

下村 で、これまでのお話で、男性と女性の関係は、今のままでいいじゃないし、いい状況ではないし、自然じゃないし、いい状況ではないし、いつの日はわかったんですが、21世紀には、男性と女性はどういう方向を目指すべきなのか。

筑紫 僕は、これまでは妻は夫に従ってという簡単な装置を作ってたから調和したんだと思います。

下村 まあ、少なくともそういう秩序というものがあったのね。

筑紫 だから、それが今からないとすればね、それはすごく難しいんだけど、例えば、夫婦っていう最低の単位がね、最近年上の妻が増えてきていて、あれ見ていると安定しているんですね。

下村 どっちかっていうと、弟になりたがる男が増えてきた。あるいは昔だったら男の法券にかかわるような収入も女房のほうが上とかね。

筑紫 だからね、男のほうもそこそこもうわかってきた一群がいるんだらうと思います。その方が楽だって。仕事する場面で言えば、いろんな問題はあるけれども能力主義になっていまして。そうするとやっぱり、結果を出したほうが男女に関係なしに評価するというね、そこに行かざるを得ないんじゃないかと思えます。

下村 もう一つ、これまでの、男に従うという秩序の重要な一部は、経済的なことだったんですね。経済力が女性に原則なかったと。男は経済力で食わせる。これは絶対的服従関係にならざるを得ないわけね。ところが、特に少子化傾向だと、いやおうなく女性労働に頼らざるを得なくなる。そういう意味でいざとなったらいつでも一人で食っていけるよっていう状態っていうのは、ますます男と女の関係を不安定にするというか。

筑紫 不安定にするね。だからどうなんだろう、長年夫婦を続けてみるとね、この形が本当に理想型で別れたりなんかするのがネガティブだと言えるのか。僕は全然言えないと思つて。

下村 私もどちらかというと、この結婚という堅い絆で一人の人と連れ添ってという形は、いやおうなく崩れざるを得ないと思つてますね。北欧は、正規の結婚とそうじゃない結婚とほとんど差別ないでしょ。子どもだって私生児なんてないわけですから。むしろそういうふうになっていって、まあ例えば夫婦別姓なんかの法律が通ったりす

現在の結婚の形が本当に理想型で、別れたりなんかするのが、ネガティブだと言えるのか。僕は全然言えないと思つて。

(筑紫)



ると、ますます、個と個がたまたま一緒に住んでます、ある時期住んだだけでも別れてまた、とか。誤解されるかもしれないけど、私、必ずしも悪いことだと思わない。

筑紫 たぶんそついう中で一番の問題は人口の問題だと思う。世界は地球が養いきれないような人口増にはく進している。一方我が国はですね、この国がなくなる方向にばく進しているわけ。要するに、子どもつてのをどつとらえるか、それが一番難しい。これはものすこい課題でね、子どもは社会が共同で育てていくつていう方向が、もう少し整わないと。

下村 例えば、私生児の問題にしても、それによって差別を受けたり、離婚した家庭の子どもたちがいろいろ言われたり、未婚の母がいじめられたりということはまだありますが、少なくともいいとか悪いとかは抜きにして、そういう現実はどうん先行していくと思つたのね。それに対してどつ社会が差別をしないで温かく対応するかが、これから大切になっていくと思えます。

筑紫 実は、日本の近代の手前は結構そのへんはでたらめだった。

下村 だったのかもしいないわね。お妻さんの子どもとかいっばいいいたからな。

筑紫 それは、社会全体の支えで処理していくという、地域社会にそついうものがけつこつあってね、表で見えるほど窮屈ではなかった形跡があるんですね。近代化した時に、そついうのはもう野蛮

だという感じで、ものすこく一生懸命に優等生になろうとしたでしょ。

下村 一種の道徳みたいになつて、倫理の問題にしちゃったのね。

筑紫 そつ。で、そのご本家のアメリカはどつにもならなくなつてめっちゃくちゃになつてしまった。ところが、日本はまだそれを引き継いでいて、中途半端に苦しんでいる。

### 「女と男の未来館」のスタートに当たつて

下村 最後に、日本では非常に多くの自治体が女性の地位向上のために女性センターのようなものを作つていますが、これは極めて日本的で、よその国にはないことなんです。諸外国は男女平等に関してはNGOの活動で盛り上がつてきたわけですが、日本は、例えば男女共同参画社会基本法を作つたのもそつですし、政府とか行政が中心になつてやつています。そついう動きに関して、例えば今度の福島県の我が未来館につきましても、筑紫さんの目から見て、こつあってほしいとか、こつあるべきだとかがありましたら、一言お願いします。

筑紫 今までは、政党ですら青少年婦人局というのがあつたくらいで、子どもというカテゴリの中であつていた。これはすなわち、庇護する対象として、上下関係の中で眺めた女性問題なんです。今から男女共生センタ

ーというものを作つて、せつかく一周遅れのランナーでトップに出ようとするんだつたら、やつぱりその男と女の関係を職場からも社会からもあらゆる面でどつ捉えたいのか、そのほぐしをやつていく場としては意味があるんじゃないかと思えますね。一方的に行政が女のためにこついうんじゃないかと、女と男をどつやつてつなぐか、一緒に考えてこついう場を作るのは一番おもしいし、意味があるし、これからの時代にふさわしいんじゃないですかね。

下村 私も、偶然ですけど全く同じようなことを考えているんです。どちらかといつと、女性の地位向上とかを女性だけであだのこつだの言つていた時代はもう終わつた。やはり男性と女性の有機的な関係において、両性の在り方を考えることが必要ですね。未来館といつのは、21世紀の男性の生き方、女性の生き方を追求するこつ場の提供であつて、私たちもいろいろプログラムは作りますが、あとはもう皆さん方がどつ使つていただくかだと思います。

筑紫 しかし、見ものはこつに來る人の男女比だね。(笑い)

下村 そつ、女と男の未来館である以上、なんとか男性にもたくさん来ていただきたい。

筑紫 男が来なくなるようなプログラムを組めば、入れ物として男はなじんでくるんじゃない



かね。

下村 だから、私はもう徹底的にそのプログラムは、どちらの性も聞きたくならないよつなもので組みます。

筑紫 場合によっては、男のほうが出来なくなるようなテーマにしてね。例えば、日本経済の行方なんていうのをやつたら、男のほうが出来ちゃうんじゃないの。

下村 そつですね。でも、そついうテーマをやつたら、女性が来ないといつのでは情けない。発展性がなくてね。女性も経済、政治、そついう話をおおせい聞きに來る時代にならないとね。





ありま・まきこ ジャーナリスト。財団法人横浜市女性協会理事。フォーラムよこはま館長、ユニフェム(国連婦人開発基金)日本国内委員会副会長等を兼任。主な著書に「女がひらく仕事の世界」。

## 福島県男女共生センターの門出に 有馬 真喜子さん

男女共生センターの出発、おめでとございます。一緒に仕事をする仲間が増えたことを心強く、頼もしく思います。

折しも国の新しい行政体制のもと、内閣府に男女共同参画局がスタートし、基本計画も発表されたところです。「男女共生」を正面に掲げたセンターの誕生はまさに時期を得たものと考えます。一発表を心からお祈りします。15年近く女性センターの運営に携わっていて感じることは、センターに対する男女市民の期待や要望が、時代と共にかなりのスピードで変化していることです。私たちの二つのセンター、横浜女性フォーラムとフォーラムよこはまについては、15年間で利用者の平均年齢は5歳若返り、男性の利用も違和感が少なくなっています。起業や情報や心の問題への関心の高まりが目立ってきました。センターは生き物だと思っております。



いとう・きみお 大阪大学大学院人間科学研究科教授(文化社会学、コミュニケーション論専攻)日本初の「男性学」を開講、日本男性学の先駆者。国・各自治体の各種委員を歴任。主な著書に「<男らしさ>のゆくえ - 男性文化の文化社会学」男性学入門」ほか多数。

## 男性の「気づき」と交流の場としての未来館へ 伊藤 公雄さん

未来館のオープン、おめでとございます。未来館の目標は、もちろん、男女共同参画社会です。そのためには、まず、女性のエンパワーメントを支える活動が重要です。と同時に、現状の男性主導社会を変

革するためにも、男性社会の担い手である男性たちに変わってもらわなければなりません。「女と男の」と「男」がついているのはそのためです。21世紀の日本が直面する少子・高齢社会は、女性の意思決定参画、社会参画の一層の拡大とともに、男性の家庭参画・地域参画を要請することになるでしょう。男女が対等に社会参画・家庭参画をするためにも、男女ともフレキシブルな働き方ができ、ともに子育てや介護を担える社会がこれからは求められるのです。でも、男性たちは、まだまだこの問題に関して「鈍感」です。男性たちの「気づき」のチャンスを作るとともに、男性同士、あるいは男女の交流・意見交換の場として、未来館にできることはきっとたくさんあるはずですよ。

## 女と男の未来館へのメッセージ

新しい世紀の始まりとともに未来に向けてスタートを切った福島県男女共生センター。センターの船出に当たり、女性問題・男性問題の第一線で御活躍の方々から熱いメッセージをいただきました。



みずみ・よしこ 北九州市立女性センター「ムーブ」所長。北九州市女性行政推進部長を経て、現在(財)アジア女性交流・研究フォーラム専務理事を兼任。最近の著書に「分権社会を創る 8巻 男女共同参画社会に向けて」共同執筆(ぎょうせい)など。

## 21世紀を男女共生の世紀に 三隅 佳子さん

新世紀の幕明けと共にオープン！何て素晴らしいことでしょう。福島県男女共生センター「女と男の未来館」の開館を心よりお祝い申し上げます。その名から、女も男も個人として尊重され、パートナーとして豊かで活力ある社会を築こう、との「思い」をしっかりと

り受けとめました。北九州市立女性センター「ムーブ」も目的は同じで、1995年7月に開所し、5年半になります。この間、男女共に縛られているジェンダー意識と社会構造を解体し、共生の21世紀の創造に向けて活動を展開してきました。インターネットの普及で、今や情報の共有は世界的、速時的です。けれども交流で生まれる知恵やパワーや戦略、顔を合わせて得られる情報、刺激、協力を。そして励まし、喜び、責任等。これがセンターの大きな魅力です。福島と北九州、私には今回距離がぐんと縮まりました。貴センターの今後のご発展を期待しています。また、子どものセンターもネットワークの仲間には是非加えてください。楽しく、たたく、たくましく前を向いて進みましょう！



むらせ・はるき エッセイスト。ハウスハズバンドの経験を生かし、講演・執筆活動にて活躍中。平成10年「男女共同参画社会づくり功労者・内閣官房長官表彰」を受賞。主な著書に「怪傑！ハウスハズバンド」、コミックス「住宅探偵におまかせ！」1-3巻(講談社)ほか多数。

## 自分の人権に敏感に！ 村瀬 春樹さん

今の時代、この世の中というのは、女も男も一人一人がバラバラに切

り放され、孤独で、不安定で、自分が一人だけ孤立しているのでは……と気がちなところがある。でも、We are not alone! 誰かに会いたいという強い気持ちと出会うの場があれば、人は誰かと出会えるのだ。そんな場の一つが「センター」だと思つ。同じユメや同じココロザシ、あるいは同じモンダイを抱えた別の人の出合い。もしかしたら、それは同じクヤシサを抱えた人かもしれない。一人で抱くクヤシサは体に良くないが、トランプのカードのように、おた

がいにくいテーパーの上でオープンにしたクヤシサは人を元気にさせるところがある。「クヤシサ」は「愛」より強い絆となることがあるのだ。クヤシサを眠りこませないコツは、自分の人権に敏感になることだ。特に女性の皆さんに必要なのは、「自分の人権」をもっともっと大事に考えることだと思つ。なぜなら、自分の人権に鈍感な人は、他人の人権にはもっと鈍感だから。なのだ。自分の人権を大事にしないかぎり、世界は変わらないのである。ぐんばれ！「女と男の未来館」！

# 「男女共同参画」について

## 聞いてみました。

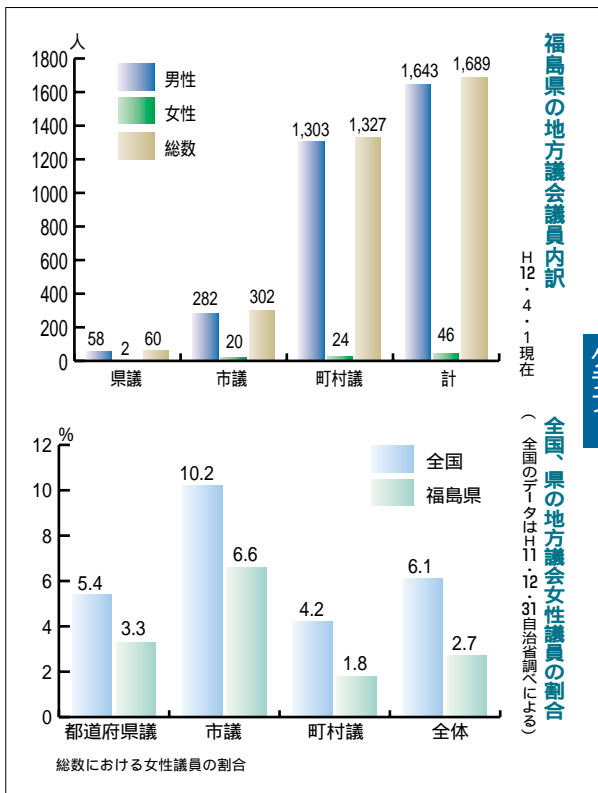
福島県男女共生センター「女と男の未来館」がオープンしました。当センターは、男女共同参画に関するさまざまな情報を発信するとともに、女性と男性のよりよいパートナーシップについて考える場となることも目的の一つとしています。

そこで、福島県民の皆さんが、今「男女共同参画」ということについてどのような意見をお持ちなのか、何種類かのグラフをもとにインタビューをして聞いてみました。

### 「男女共同参画」や「男女平等」という言葉を聞いて率直に思うことは？

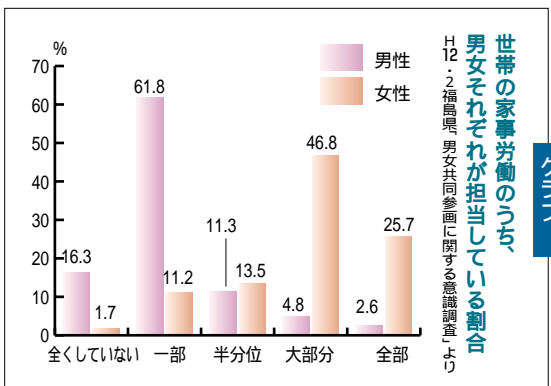
- 男と女は違うのだから、現状を受け止めつつ互いに協力した方がいい。(30代女性)
- 男だから、女だから〜できないと決めつけている風潮はよくない。(20代男性)
- 男性と女性は人格的には平等だ。権利は平等だが、両性にはそれぞれ特性がある。(70代男性)
- 女性が苦痛だと思っている負担は男性も受け入れるべきだ。(40代男性)
- 就職活動で男女が平等ではないことを肌身感じた。求人では「男女問わず」だったのに、電話したら「女はちょっとね〜」と言われた。(20代女性)
- 男女差別はいけなくていいけど、男だけとか女にだけしかできないこともあると思う。お互いに行えることをすればいいんじゃないの？(10代女性)
- 何で今更改めて聞くのか？今でも十分男女平等である。(50代女性)
- 男女共同参画という言葉は聞き慣れない。(60代男性)

### 女性議員の数などを見て思うことは？(グラフ)



### 家事労働時間の男女差を見て思うことは？(グラフ)

- 男の人は言わないと家事をしない。無理に頼んでけんかになるのも嫌だし、手伝ってもらっても自分が思うとおりのレベルじゃない。(20代女性)
- 男の人も家事が得意な人がいて、女で苦手な人もいるのに、この数値はやっぱり極端だと思う。(30代女性)
- 家事はしているので別に気にならない。家事は家族で分担している。(20代男性)
- 家事分担任は夫婦で決めた方がいい。(40代男性)
- 家事をしようと一方的に男に求めてもだめ。女も仕事をするなどやるべきことをしないと。(10代女性)
- 女性が家事をしなければいけないという世間の目がある。(60代女性)
- 男は稼いできているので家事は女の仕事。(70代男性)



- 男が決めている男社会なんだということがよく分かる。(20代女性)
- 女性に参加する意識がない。女性が立候補しないし、してもいいの？と思っているのでは。(20代男性)
- これから女性が社会進出していった方がよい。女性議員数は自然と増えていくと思う。(40代男性)
- 適した人が議員をすればいいので、女性を増やせばいいということではない。(30代女性)
- 女性が議員に向かないのならまだしも、そうではないのに女性が少ないのはいけない。(10代女性)
- 女性が政治をできないという意識は変わってきていると思う。(50代女性)
- 女性が立候補していないから少ないだけで、女性蔑視しているからではない。(60代男性)

## 実収入のために働く時間の男女差を見て思うことは？(グラフ)

- 男性だけでなく女性ももっと働くべきだ。(30代男性)
- 男がこれだけ働いていると家事は女でもしよつがないかな(20代女性)
- 今は家庭で(SOHOとか)仕事ができるので女性の労働時間も増えていくと思う。(20代男性)
- 日本の社会構造が男を働かせすぎていると思う。そもそも日本人は働き過ぎ。男の働く量を減らしてその分女が働けばいいと思う。(20代男性)
- 体力的に男性が働いて当然。(10代女性)
- いつになったら逆転、もしくは男の人と同レベルになるのだろうと思う。(40代女性)
- 女性が主婦をしていた歴史が長いのですぐに女性が働くというふうには変わらない。(60代女性)
- 女性が働ける場所が少ない。(70代男性)

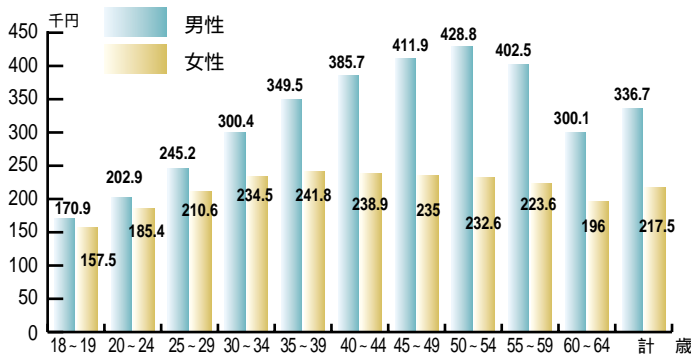
## 福島県内の男女賃金格差を見て思うことは？(グラフ)

- 責任ある地位にいれば多くのお金がもらえるが、女性はその地位にいないしなれない。(30代男性)
- こんなに賃金が低いのでは、女性の自立なんてできない。(20代男性)
- こんなにも差があるんだつたら働きたくない。(20代女性)
- 男と女では精神的にも肉体的にも力の開きがあるので、もらうお金に開きがあるのも当たり前だ。(70代男性)
- この差はすごい。あ然とした。女の人でも仕事ができる人はいるのに。(10代女性)
- 私たちの年代でさえこんなに差があるの？(50代女性)
- 結婚、出産をやめてしまう女性に対し、男性と違う待遇をするのは差別ではないのでは。(30代女性)

グラフ

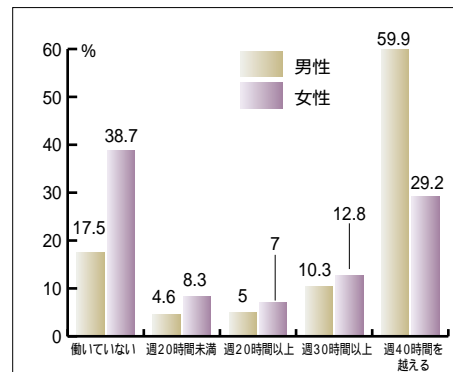
男女における賃金格差(福島県)

「労働省平成11年賃金構造基本統計調査」より作成(金額は平成11年6月分の常用労働者に対する所定内給与額)



グラフ

## 実収入を得るために働いている時間等



## 福島県男女共生センターに対する意見・要望

- 県民に対して、どんな情報を発信してほしい。(30代男性)
- 私たちが就職するとき、希望の持てる社会にしてほしい。(10代女性)
- 大人になってからではなく、子供の頃から男女平等の教育をしてほしい。意識は変わらないのは。楽しく学べる企画などがあればよい。(20代女性)
- 女性は政治と経済を勉強すべき。センターでそういう勉強ができるようにしたらよい。(70代男性)
- 男女平等を考える機会、集まる機会をつくってほしい。(20代男性)
- 各地区にある公民館のように誰でも気がねなく入れるセンターにしてほしい。(50代女性)

## 「女と男の未来館」は、男女共同参画社会の実現を目指す人たちの取り組みを支援します。

「男女共同参画」や「男女平等」について改めて質問されると、考えだんだり、身構えてしまう方がとても多いようでした。言葉は耳にしますが、実際に自分の身の回りのこととして考える機会はそれほどなかったかもしれません。

「男女にはそれぞれの役割がある」といった意見も数多くあり、ジェンダー(社会の一つの仕組みとして、後天的に作られた性差)意識の根強さをうかがわれましたが、一方では、性別による格差に対する不満や疑問もたくさん聞かれました。

女性にとっても男性にとっても豊かな未来を築くためには、性別だけ理由に生き方を狭められたりせず、自分らしい生き方の選択ができる社会にしていくことが必要です。男女共同参画社会づくりは、そういう社会を目指すもので、その実現のためには私たち一人一人が男女を取り巻く状況について考え、議論し、身近な問題から解決に取り組んでいくことが求められます。「女と男の未来館」は、情報発信や各種のプログラムを通じて、男女共同参画社会の実現を目指すすつした一人一人の取り組みを支援していきます。

# 福島県男女共生センター 「女と男の未来館」 オープン

## 福島県男女共生センターの基本理念



### 「男女共同参画社会」を目指す 実践的活動拠点

福島県男女共生センター「女と男の未来館」は、性別の違いにより行動や生き方を狭められたり、特定の仕事や役割がどちらか一方の性に偏ったりすることなく、女性も男性も個人として尊重され、互いに認め合い、共に責任を担う社会、男女共同参画社会の実現を目指して設立されました。自己啓発や積極的な社会参加を通して、一人一人が主体的に男女共同参画についての問題に取り組み、豊かな人生を送るための実践的活動拠点として活用していただく施設です。

## 「女と男の未来館」の3つの機能

### 情報機能

#### (1) 情報事業

男女共同参画についての専門図書、資料などを収集し提供します。さらに、情報ネットワークを充実させ、当センターから県内はもとろん世界に向けて情報を発信します。

#### (2) 調査研究事業

男女共同参画に関する問題を明らかにするための調査研究や民間グループの研究支援を行います。

### 自立促進機能

#### (1) 普及啓発事業

男女共同参画社会の実現を目指した講演会やシンポジウムなどを開催し、男女平等に向けた県民意識変革を促進します。

#### (2) 研修事業

男女共同参画のための講座開催や人材育成、女性の就業・起業支援等の事業を行い、男女が共に社会参画し、責任を担うために必要な力をつけていく支援をします。

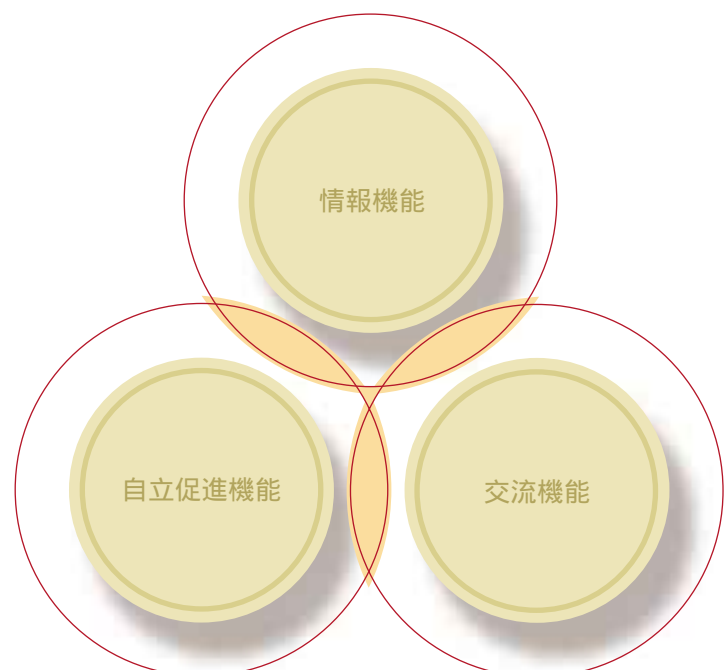
#### (3) 相談事業

様々な人間関係の中から生じる問題や悩みの相談に応じ、男女が自立し、生きがいのある人生を送ることができるよう支援します。

### 交流機能

#### 交流関連事業

男女共同参画社会実現に向けた地域づくりのため、当センターを自主的な交流の場として提供し、個人や様々な団体・グループ間の相互交流を支援します。



# 事業紹介

男女共同参画社会の形成を推進するため、さまざまな事業を展開します

## 相談事業

男女共生センター相談室では、男女が日常生活の中で直面するさまざまな悩みや問題を解決するためのお手伝いをしています。一人で悩まずお気軽にご相談下さい。

## 一般相談

生活全般の悩みや問題について、専門の相談員が電話と面接（予約制）で相談を行います。

### 【相談日・時間】

- ・火・木・日 9時～12時、13時～16時
- ・水 13時～17時、18時～20時

## 専門相談

法律問題や健康（心と体）に関することについて、弁護士や医師による相談（予約制）を行います。

### 【相談日・時間】

- ・法律相談 第1水曜日 13時30分～15時30分
- ・心の健康相談 第2水曜日 13時30分～15時30分
- ・体の健康相談 第3水曜日 13時30分～15時30分

## 調査研究事業

### 男女共同参画社会 実現のための 問題解決に向けて

男女共同参画社会の形成を促進するには、社会のさまざまな分野において男女が置かれている実状を把握し、男女共同参画社会実現の障害になっているのは何かを究明していく必要があります。

当センターでは、男女共同参画社会を形成していく上での問題点を明らかにし、解決への道を探るための調査研究を行います。また、民間のグループや個人の皆様が男女共同参画に関する調査研究を行う場合、情報の提供やアドバイス等によって支援いたします。

### 平成12年度の 自主研究は 高校生と先生方の 意識調査

男女共同参画社会基本法の制定など、男女を取り巻く状況が変化する中、福島県の明日を担う若い世代は、ジェンダー問題や男女共同参画についてどう考えているのでしょうか。当センターでは、本年度の自主研究として、県内の県立高校のうち36校に御協力をいただき、高校生の皆さんと指導に当たられている先生方の意識調査を行っています。

現在、結果の分析を行っており、研究成果の概要は平成13年度に「未来館NEWS」やインターネットのホームページでお知らせします。

## 平成12年度開催講座

### 福島県男女共生センター主催講座 男女共同参画講座

講座名	開催	募集締切
「女性と暴力～ドメスティックバイオレンスを探る」	2/17(土) 2/24(土) 3/3(土)	2/10(土) 締切

### 就業・起業講座

講座名	開催	募集締切
女性起業家育成講座	2/10(土) 2/11(日)	1/27(土) 締切
能力開発講座	1/28(日) 2/4(日) 2/18(日)	1/20(土) 締切

### 福島県女性就業援助センター主催講座 技術講習会

講座名	開催	募集締切
パソコン初級講座	1/23(火)～3/1(木) 毎週火～金 22日間	募集終了しました。

### 福島県介護実習・普及センター主催講座 県民介護講座(一般向け)

講座名	開催	募集締切
男性のための介護講座	1/27(土)・1/28(日)	開講の2ヶ月前から受付開始。 定員になり次第締め切ります。
介護実技フォローアップ講座 (5週シリーズ・介護実技講座修了者)	2/1(木) 2/6(火) 2/14(水) 2/21(水) 2/28(水)	
痴呆老人介護講座	2/2(金)	
介護入門講座 (昼コース)	2/8(木) 2/9(金)	
介護入門講座 (夜コース)	3/6(火) 3/7(水)	

### 専門研修(介護専門職向け)

講座名	開催	募集締切
福祉レクリエーション研修 -前期	2/2(金) 2/3(土)	募集終了しました。
福祉レクリエーション研修 -後期	2/23(金) 2/24(土)	募集終了しました。
相談援助面接研修フォローアップ -前期	1/30(火) 1/31(水)	募集終了しました。
相談援助面接研修フォローアップ -後期	3/13(火) 3/14(水)	募集終了しました。
排泄研修	3/8(木) 3/9(金) 3/10(土)	募集終了しました。

# 施設紹介

女性でも男性でも、  
どなたでも気軽に利用できます

## 研修ホール

講演会や発表会など、多目的にご利用いただけます。子供連れの方が親子で一緒に利用できる鑑賞室も備えています。



## 1階

### 福祉機器展示室 高齢者モデル室

福祉機器・介護用品を展示する福祉機器展示室、高齢者のための住居モデルとして高齢者モデル室を設置しています。



## 2階

### 相談室

日常生活の中で直面する、様々な人間関係から生じる問題や悩みについて、電話や面接による相談を行います。



## 2階

### 子供室

育児中の方が講演や研修に参加できるように、ベビーベッドなどを備えた託児施設です。保育者の手配は利用者が行ってください。



## 2階

### 多目的研修室

壁面鏡があり、軽運動など様々な用途に対応できます。



## 3階

### 交流室

各団体の交流、会合等で利用できます。団体が利用できるロッカーも設置されています。ロッカーの利用を希望される場合には申込みが必要です。



## 4階

### OA実習室

パソコンを使っての講習会を行います。



## 4・5階

### 研修室

会議や研修など、規模に合わせて利用できます。第2、3研修室はビデオプロジェクトを備えています。



## 4・5階

### 宿泊室

洋室は2人、和室は4人まで宿泊できます。4階には車椅子利用者が宿泊できる洋室もあります。



## 5階

### 介護実習室

介護に関する知識や技術を習得できるよう、様々な実習を行います。



## 利用のご案内

男女共生センターの研修室等は、センター主催の講座等を開催していないときに、有料でお貸しします。福祉機器展示室・高齢者モデル室は、自由にご利用になれます。

### 利用時間区分

利用時間には、準備及び後片付けの時間が含まれます。

区分	利用時間
午前	午前9時～午後1時
午後	午後1時～午後5時
夜間	午後5時～午後9時

### 申込み手続きについて

・受付日 休館日を除いて毎日受け付けます。

・受付時間

午前9時～午後7時

(休館日前日は午後5時まで)

・申込み方法

1 直接受付窓口または電話等で予約をしてください。

2 予約をしてから2週間以内に「使用承認申請書」に必要な事項を記入し提出してください。

受付期間、使用料金等の詳細については、センターにお問い合わせください。

☎0243-23-8301(代)

# 男女のよりよいパートナーシップ確立に向けた情報ステーション 男女共生センター図書室

当センター図書室は、男女共同参画社会形成の促進のための活動・研究・情報収集に資することを目的とした専門図書室です。ジェンダー学・女性学・男性学・女性史といった分野の図書・行政資料・A/V資料等を収集しており、閲覧や貸出しによりご利用いただけます。



## 利用時間

通 常 午前9時～午後8時  
センター休館日の前日  
午前9時～午後5時

## 休館日

・毎週月曜日 12月29日～1月3日  
月曜日が祝日の場合は開館します。  
その場合、火曜日が休館日となります。  
蔵書整理・蔵書点検のため臨時休館とすることがあります。

## 図書利用カード

・図書を借りるには、「図書利用カード」が必要です。  
・図書室カウンターにある「図書利用カード申込書」に必要事項を記入して、住所・氏名を確認できるもの（健康保険証・運転免許証・学生証等）を添えてカウンターの職員までお申し込みください。

## 貸出冊数・貸出期間

・図書：貸出冊数 5冊  
貸出期間 15日以内  
・ビデオ：貸出本数 3本  
貸出期間 8日以内

## 図書・ビデオの貸出し及び予約

・図書、ビデオを借りる際、カウンターの職員に利用カードを提示してください。  
・図書、ビデオが貸出中の場合、予約することができます。

## 図書・ビデオの返却

・開館時は必ずカウンターまでお持ちください。  
・閉館時にはブックポスト（3階南エントランス入り口）に投函してください。  
・ビデオは破損防止のため開館時に図書室カウンターまで直接お持ちください。

## 図書・資料等の検索とレファレンス

・図書室内の情報コーナーの端末で、所蔵の図書・ビデオの検索をすることができます。  
・情報端末の操作方法や、図書、情報、資料探しでご不明の点については、カウンターの職員までお気軽にご相談ください。

## センターに宿泊する方への貸出し

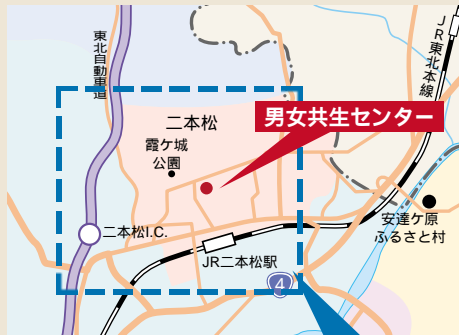
・宿泊する方は、宿泊期間中に限り、利用カードがなくても図書を借りることができます。  
住所・氏名を確認できるものをご持参のうえ、カウンターでお申し込みください。

情報端末機で欲しい情報がスピーディに検索できます。



図書室の入り口付近には指を画面に触れることによって操作・入力するタッチパネルタイプを、カウンター付近にはキーボードで入力するタイプの情報端末機を設置しています。ここでは図書検索や県内外の男女共同参画社会の推進に関する活動を行っている施設（女性センター等）の情報、団体情報、イベント情報等の検索ができます。





JR東北本線 二本松駅より徒歩12分  
東北自動車道 二本松I.C.より車で5分



所在地 / 二本松市郭内一丁目196-1

### 風情豊かな城下町から世界へ情報発信

東の阿武隈高地、西の奥羽山脈により中通り、会津、浜通り地方に三分されている福島県は、火山や湖沼・高原・海岸など豊かな自然に恵まれています。ここでは、「智恵子抄」にうたわれた「あの光る阿武隈川」や「ほんとうの空」があり、人・モノ・文化・情報の活発な交流が行われています。

「女と男の未来館」のある二本松市は、中通りに位置し、提灯祭りや菊人形が催され、風情豊かな城下町です。

### センターからのお知らせ

**男女共同参画関連の活動をしている皆さん、「団体情報提供システム」に登録しませんか？**

当センターでは男女共同参画に関して幅広いネットワークを形成することを目指しています。男女共同参画関連の活動をしている団体・グループの皆さん、当センターのホームページで団体やグループ活動について広く紹介する「団体情報提供システム」に登録なさいませんか。詳しくは下記にお問い合わせください。

当センターや男女共同参画に関する質問・ご意見等をお寄せください。

### 編集後記

・今回の編集の仕事の中で、よく顔を見合わせるく親しい人からテレビでしか会えないと思っていた人まで、実に様々な「男女平等」や「男女共同参画」に関する意見を聞くことができました。

・「男女共同参画社会」は一朝一夕に実現するものではないので、その社会の実現のために、女性も男性もお互いに意見をぶつけ合い、試行錯誤や努力をしながら、男女共に幸せな未来を模索していくことが大事なのかな、と思います。

・県民の皆さんや多くの人たちが、その模索をするのに、大いに「女と男の未来館」を利用してくださることを心から願っています。

(O-T)



表紙の作品 渦 139pcs. (近藤 康広)

未来館NEWS NO.1 2001年1月

編集・発行 福島県男女共生センター ~女と男の未来館~

〒964-0904 福島県二本松市郭内一丁目196-1 ☎0243-23-8301(代) ☎0243-23-8312

ホームページアドレス: <http://www.f-miraikan.or.jp> メールアドレス: [mirai@f-miraikan.or.jp](mailto:mirai@f-miraikan.or.jp)